

令和8年7月7日

新規

宮津中学校で環境教室①を開催します

～ 中学生に脱炭素なまちづくりを自分事化する機会を提供します ～

本市では、令和7年度から着手した市内3施設での太陽光発電設備等の導入工事の完了に合わせ、本年度、宮津中学校及び府中小学校でそれぞれ環境教室を開催します。

- ・この取組は、本市とSDGs等の取組でパートナーシップを組む事業者等を招聘して実施し、未来を担う中学生が地球温暖化やプラスチックごみ問題などの諸問題を正しく理解し、これらの問題を自分事と捉えて、環境にやさしい行動を主体的に実践・選択できる講座とします。
- ・第1回目となる宮津中学校の環境教室についてお知らせします。

日 時

・7月9日（木） 午前8時50分～10時30分（2コマ）

場 所

・宮津中学校（宮津市字万年220番地）LL教室

内 容

- ・「地球温暖化の影響と私たちのとるべき行動について(案)」をテーマに、京都府地球温暖化防止活動推進員 森脇 浩氏の講和を行います。
- ・別添実施要項参照

その他

- ・太陽光発電設備等については、別途、報道発表します。

【担当者のコメント】

太陽光発電設備等の設置を機会に、生徒が気候危機打開に向け、これらの問題について正しく理解し、自分事化してもらえるお話を聴いてもらい、本市が目指す環境価値と経済成長の両立された脱炭素で持続可能なまちづくりに向けて、生徒が日常生活から環境にやさしい取組を実践・選択してくれることを期待しています。

【森脇 浩氏プロフィール】

1957年神奈川県生まれ、西舞鶴高校卒業後、海上自衛隊に就職。その後、民間航空会社に入社し国内線の副操縦士として勤務。退職までの総飛行時間は約12,000時間で、この間に消費した燃料は、ドラム缶16万2千本に。退職後、舞鶴市に帰郷し、化石資源を使用する仕事に関わった経験から京都府地球温暖化防止活動推進員やまいづる市民環境会議の委員として気候危機打開に向けて小学校や地域での環境学習や啓発活動を続けられている。

令和8年度 宮津中学校 環境教育 実施要項

1 目 的

本市では、脱炭素社会の構築に向け、令和8年7月までに宮津中学校の屋根に太陽光発電設備を設置します。これを機会に未来を担う中学生が地球温暖化やプラスチックごみ問題などの諸問題を正しく理解し、これらの問題を自分事と捉えて、環境にやさしい行動を主体的に実践・選択できる講座を、市役所職員や市とパートナーシップを組む関係者等の御協力を得て開催します。また、本取組の成果を情報発信し、市民や事業者などの行動変容につながる取組とします。

2 実施内容

下表のとおり、学年ごとにテーマを設け、それぞれ2コマの授業を実施します。各学年の講義内容に合わせ、市から趣旨説明やSDGsの取組について紹介します。

	日 時	テーマ	講 師
1年生	9月24日(木) or 9月25日(金) 10:30~12:30	循環型社会の構築に向けて	(株)JEPLAN 岩崎氏、小林氏
2年生	7月9日(木) 8:50~10:30	地球温暖化の影響と私たちのとるべき行動について	京都府地球温暖化防止活動推進員 森脇浩氏
3年生	①3/1、2、② 2/18、19、② 2/22、26	再生可能エネルギーの普及について	(調整中)

3 対象者数 1年生：58名、2年生：69名、3年生：69名、合計：196名

4 開催場所 宮津中学校 LL教室ほか

5 主 催 宮津市・宮津市教育委員会

6 事務局 宮津市市民環境部市民環境課環境衛生係 担当：小西、糸井